

あなたのご家族(兄弟・姉妹・父母・祖父母)に八中の卒業生がいたら見せて下さい。

「ハテ」と「何故」

9月末まで放映されていたNHKの朝の連続テレビ小説、「虎に翼」は主人公の寅子が、日本で初めての女性裁判官になっていくドラマですが、その過程には大きな障害がありました。それは明治以降の「良妻賢母教育」で、女性の社会進出を阻むものでした。彼女はドラマの中でその理不尽を感じた時によく「ハテ」という言葉を発しました。このハテは基本的には疑問形のハテですが、ドラマの中ではその理不尽さゆえに「それでいいのかな」という問いかけであり、何かを疑問形にして、答えを求めるものではありません。むしろ状況確認的に相手に理解させるためのハテでした。

「ハテ」の効果

もしハテが何故という言葉ですと、これは相手に対して応答を直接的に求める、いわば攻撃的な言葉となります。しかしハテを使うことで、自身の状況分析と相手への疑問の提言的意味を感じます。つまり、話を一旦停止させて、お互いの立場で考える状況に使われています。

このような疑問形の使い方は、独特なものとして今回は採用されています。それは男性社会とされてきた法曹界に、彼女が切り込んで行く度に跳ね返されることに対して、抵抗的な言葉ですらあります。ですがインパクトのある言葉となっていて、男女平等社会を切り開く言葉として有効でした。

「何故」の効用

また本来の疑問形としての「何故」は、これとは異なります。これを感じたのは、少し前に「武士の家計簿」一躍有名になった「磯田道史」（歴史学者）本人が、歴史学者になった背景の話でした。

彼は岡山県の出身で自宅近辺は遺跡が多く、遺跡の上に自宅があったような環境で、庭を掘ると縄文土器が出てくるほどでした。ですので、幼少期はその発掘に明け暮れ、縄文人のマネごとまでしていました。小学校の高学年になる頃、祖母が磯田家の家系図の書かれた古文書を出して見せてくれました。しかし古文書は、難しい文字が並び読めませんでした。彼は発奮して学校の勉強を一時停止して古文書の文字の解読に専念し、小学校を卒業する頃には古文書を読めるまでになりました。

「何故」の追及

以来、全国各地に存在する古文書を見て廻るまでになりました。もう毎日が楽しくて仕方なく、そこには常に「何故」の追及がありました。これは前述の「ハテ」という何故が内側に働く何故であるとするならば、彼の何故は明かに外側に働く何故であり、好奇心が中心となった何故と云えます。

この知的好奇心には常に「ワクワク感」が伴うものであり、何故の追及もまた常にあるのです。このような状況は、研究者と呼ばれる人に多く見られるもので、この知的好奇心こそが彼らの源泉です。女性の社会進出を切り開いた「ハテ」と、旺盛な研究心を支える「何故」、日本語の面白さか。



天竜浜名湖線沿線巡り

①掛川市 小崎葛布（くずふ）工芸（織布）

掛川城の前で伝統工芸の葛布の製造販売をしています。葛だけが持つ上品な繊維で織りあげ、深みがあるその光沢は、天然素材ならではの味わいです。

同窓会だより」掲載記事募集

八幡中学校同窓会事務局 代表 白井 鉄男

連絡先：〒430-0928

浜松市中区板屋町612-402

FAX：(053) 489-6391

ironman29@hotmail.co.jp

「同窓会だより」は、八幡中学ホームページトップの「特色ある活動」から入ると、スマホやパソコンからでも見られます。皆様の友人や同級生にも教えてあげて下さい。「同窓会だより」は毎月発行。